

衆議院議員

浅野さとし

活動Letter
No. 4

発行：衆議院議員 浅野さとし 2018年2月

「中小企業への支援体制強化を！」予算分科会にて質疑

2月26日、衆議院予算委員会分科会が開催され国会議員に初当選してから2度目となる質疑に臨みました。テーマは「①中小企業支援」と「②データ利活用」の2点です。質疑内容の一部抜粋をご紹介します。

【衆議院予算委員会第7分科会】

開会日：2018年2月26日(月) 10:00~10:30

※質疑の詳細はこちら→ (<http://www.shugiintv.go.jp/jp/>)

1. データ流通環境の整備を求める



浅野議員

第4次産業革命において、今後、国内企業の総合力を発揮するためにはデータの利活用環境の整備がカギを握る。一方で、データというものは取扱う立場によって定義が異なるケースも出てくるため、データを守る仕組みの整備や、不正データの定義などを整理していく必要がある。

日本は強みは中小企業を含めてIT導入が進んでいること。弱みはそのデータは企業内で閉じていること。今後、データ共有ということの切り口にして企業間の協調領域を広げ、日本の産業競争力強化につなげていきたい。また、データを利用する際に、その権利や責任の範囲をどう規定していくか明確にしていかなければならない。今後、議論させていただきたい。



世耕経済産業大臣

2. 事業承継の審査基準の整備を求める



浅野議員

現在検討されている事業承継税制の改正において、雇用要件の緩和(5年間の間に雇用の8割を維持できなかった場合でも認定支援機関による指導と都道府県の審査を通過すれば適用される)があるが、公平性を保つ観点から審査の判断基準に一定のガイドラインを整備する必要があると考える。

ご指摘の通りと認識している。今後、判断基準には最大限統一性を持たせるためにQ&Aもしくはガイドラインのようなものを整備して、運用に万全を期させて頂く。



安藤中小企業長官

3. 公設試験研究機関(公設試)の支援強化を求める



浅野議員

地域産業の中核的な支援機関である公設試は、近年、設備の老朽化や更新の必要性に加え事業化や市場開拓等の新たな支援が求められており、公設試の維持や機能強化に対して自治体の負担が重くなっていると聞いている。公設試に対する支援強化が必要と考える。

地域の中小企業の生産性向上やIoT社会への対応を促進することは大変重要と認識しており、平成29年度の補正予算では地域における中小企業生産性向上のための共同基盤事業として10億円計上している。ご指摘のあった公設試等の機関がしっかりと中小企業を支援できるように取組んでいく。



飯田大臣官房総括審議官

【プロフィール・略歴】撮影

浅野哲(あさのさとし)。1982年9月25日生まれ(35歳)。青山学院大学大学院修了。
(株)日立製作所日立研究所研究員。日立労組研究所支部執行委員。大島章宏衆議院議員秘書。
第48回衆議院議員総選挙において初当選。日上市在住。妻と娘の3人家族。

自動車関係諸税の簡素化、グリーン化、負担軽減化を ～自動車総連より要望を受ける～



ご来訪頂いた自動車総連の皆さま

2月8日、自動車総連の皆さまから「自動車関係諸税に関する要望」を受けました。

2019年10月（消費税：8%→10%）から自動車取得税が廃止となる一方で、環境性能割という新たな税が導入される予定ですが、これに対し自動車総連はユーザー負担軽減の観点から導入廃止を求めています。

本要望を受けて、2月20日に財務省および総務省に現状のヒアリングを行ないました。

私からは「簡素化、グリーン化、負担軽減化をバランス良く実現すること」を求め、引き続き、議論を続けることとなりました。国民にとって、より良い税制が構築できるように全力で取り組んでまいります。

根拠のある議論を！！ 対案を作成中 ～希望の党・民進党 働き方改革合同会議～

3月1日、希望の党と民進党の両党合同による第10回「働き方改革検討のための合同会議」が開催されました。昨日、衆議院本会議後の記者会見で、安倍首相は今国会に提出を予定している労働基準法改正法案の中身から「企画業務型裁量労働制の対象業務拡大」を削除することを表明しましたが、一方で「高度プロフェッショナル制度の創設」は含んだままです。

一般職と比較して管理職のほうが労働時間が長くなるという統計データもあることから、法律として国民の生活に適用する以上、信頼できる検証結果を明示しなくてはなりません。

根拠のある議論を重ねて、与党案への対案を構築してまいります。



発言する浅野議員



民進党、希望の党所属の働く仲間の議員とともに取組みます

【浅野さとしからのメッセージ】

働き方改革に取り組むには、何よりもまず現状を把握することが必要です。現場の実態に寄りそった根拠のある丁寧な議論を進めるために全力を尽くします。

浅野さとし

【連絡先】

衆議院議員 浅野哲 国会事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
衆議院第一議員会館 406号

Mail : g17398@shugiin.go.jp
Tel : 03-3508-7231
Fax : 03-3508-3231